

令和6年度

教育指導部の方針書

部名	教育指導部
部長名	岡固 敦

1. 部の使命(ありたい姿)

楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり ～郷土を愛し、共に語り、共に未来を切り拓く人を育てるまち、横手～	
担当政策	政策2: 学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
担当施策	2-1: 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実 2-2: 安全で安心して学べる教育環境の整備

2. 部の抱える課題(現状)

<ul style="list-style-type: none">・「生きて働く学力」「豊かな心と人間性」「健やかな体」をバランスよく備えた子どもが育つ取組の充実・子どもが安全で安心して学べる教育環境の充実・安全・安心な学校給食の提供と食育の推進及び給食業務の効率的・効果的な取組・教育委員会内の諸課や関係機関と連携した取組の一層の推進
--

3. 今年度の『スローガン』

「これがわたしたちの横手市！」と胸張る子どもを育てよう ～自ら学ぶ力と横手愛の育みを軸として～
--

4. 今年度の方針

(1) 横手を愛する心と「よりよい社会を創る子ども」が育つ学校教育の充実 <ul style="list-style-type: none">①ICT活用のさらなる推進と“自ら学ぶ子どもの育成”を目指した授業改善②就学前教育・保育及び特別支援教育の充実③不登校適応対策といじめの早期発見・早期解消
(2) 安全で安心して学べる教育環境の整備 <ul style="list-style-type: none">①教育環境の整備②安全で充実した学校給食の提供と食育活動の推進

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
	取組内容	・児童生徒の「ことばの力」の定着及び「自ら学ぶ力」の育成に結び付く指導の工夫改善 ・幼児教育施設と小学校との連携強化 ・特別な教育的支援を必要とする児童生徒の安定した学校生活を保障するための体制整備 ・学校に適応することが困難な児童生徒や、いじめ等の問題に悩む児童生徒に対する支援体制の一層の充実 ・学校部活動の地域連携・地域移行に向けた関係機関や地域との協議
(2)	実現したい成果	健やかに安全で安心して楽しく学べる教育環境づくりの推進
	取組内容	・スクールバスの安全運行と通学路における安全確保 ・就学援助や奨学金制度の周知及び適正な事務執行 ・学校等との連携による児童生徒の保健管理の充実
(3)	実現したい成果	安全で安心な、子どもが親しむ学校給食の提供と食育の推進
	取組内容	・安全で信頼される学校給食の提供 ・第3子以降の児童生徒の給食費無償化の実施 ・食育と地産地消の推進

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1) 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
 - ・教育長訪問(16校)、指導主事訪問(20校)において、授業等への新聞活用及びICTの活用の状況について把握し、授業改善への指導・助言を行った。
 - ・指導主事及び保育アドバイザーによる幼児教育施設訪問(24施設)と幼小教職員合同研修会(8月)を実施し、幼児教育と小学校の連携を図った。
 - ・支援や配慮を必要とする児童生徒に対して、「個別の指導計画」及び「教育支援計画」を作成し、一人一人の児童生徒に合った学びの保障を充実させた。
 - ・不登校適応指導教室「南かがやき」教室と「西かがやき」教室において、相談やカウンセリング(230件)を実施し、学校と連携しながら個々に応じた働きかけを行った。
 - ・いじめ等の問題に対しては、アンケートを7月に実施し、状況把握した上で、学校への指導・助言を行った。
 - ・「横手における部活動地域移行推進計画」の作成を進め、各本市立中学校へ方針説明を行った。また、児童生徒及び教職員、並びに保護者を対象としたアンケート調査を実施した。
- (2) 健やかに安全で安心して楽しく学べる教育環境づくりの推進
 - ・各バス車庫を巡回するなど、スクールバス運転手に対して安全運転の徹底と事故防止に努めるよう注意喚起を図ってきた。また、運転手やバスの割り当てを的確かつ効率的に実施した。
 - ・第1回横手市通学路安全推進会議を7月に開催し、関係機関と連携しながら通学路合同点検を8月に実施し、対策必要箇所の状況を把握した。就学援助、奨学金制度及び奨学金返還支援制度について、適正な事務執行を行った。
 - ・医療機関の協力の下、児童生徒の健康診断を適正に実施した。
- (3) 安全で安心な、子どもが親しむ学校給食の提供と食育の推進
 - ・第3子以降の児童生徒の給食費無償化事業開始に向けた周知及び手続き業務等を適切に行った。
 - ・委託事業者と定期的にミーティングを実施し、調理作業の意思疎通を図り、安全安心な給食の提供に努めた。
 - ・食材納入業者と連携し、地場産野菜の計画的な活用について情報共有を図った。また、冬場の地場産食材の活用の向上を図るためにJA秋田ふるさと低温倉庫にて野菜保存の実証実験を行った。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1) 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
 - ・教育長訪問及び指導主事訪問において、ICTの活用状況や授業改善の戦略について把握し、指導・助言を行う。また、県の事業である「ICTを活用した授業改善支援事業」公開研究会での成果と課題の共有に努める。
 - ・“自ら学ぶ子ども”の推進事業公開研究会において、推進校の成果と課題を共有することを通して、各校の授業改善の推進を促す。
 - ・横手市就学支援委員会及び横手市就学相談会を実施し、特別な支援を必要とする児童生徒の支援体制を整備する。
 - ・いじめ等の問題に対して、引き続きアンケートを実施し、状況把握した上で、学校への指導・助言を引き続き行う。
 - ・学校部活動の地域移行に関するアンケート結果の分析を行うとともに、部活動地域移行推進協議会開催へ向けた計画を立案する。
- (2) 健やかに安全で安心して楽しく学べる教育環境づくりの推進
 - ・冬期間の安全な運行に向けて、スクールバス運転手を対象とした「安全運転講習会」を実施し、一層の事故防止を図る。
 - ・通学路合同点検で確認した危険箇所について関係機関との連携を図り、その対応及び対策について検討を行う。
 - ・奨学生の募集継続と、奨学金返還支援制度の周知を図るとともに、未納者に対する手続きを適正に行う。
- (3) 安全で安心な、子どもが親しむ学校給食の提供と食育の推進
 - ・下期はノロウイルス等の発生時期を向かえることから、日常の健康観察を十分にを行い、センター内での感染予防を徹底する。
 - ・第3子以降の児童生徒の給食無償化事業を開始するとともに、それに伴う補助金交付を適切に行う。
 - ・児童生徒が食に興味を持ち、食の大切さの理解へと繋げるため、行事食、郷土食など地場産物を取り入れた給食の提供や栄養教諭による学校訪問での食の指導を行う。
 - ・低温貯蔵庫で保存している地場産野菜の活用を図る。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- (1) 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
 - ・全ての市立小・中学校において、授業への新聞活用と読書活動が推進された。特に「図書館を使った調べる学習コンクール」への初参加により、児童生徒が自ら課題を設定し、探究し、まとめるなど、自立した学びに向かう取り組みが一層加速した。
 - ・特別な配慮を必要とする児童生徒について、支援するための個別の計画を作成した上で、適切な支援を施した。
 - ・学校から、支援員に対する要望が年々増加しているため、より効果的な支援員の活用について、さらなる指導・助言を行っていく。
 - ・いじめについては、積極的な認知による早期発見・解消に努めた。次年度も、日常的な観察と定期的なアンケートなど、積極的な認知を図っていく。
 - ・部活動の地域連携・移行については、地域既存クラブ等との連携を図ることで、本市地域移行の形がつけられた。今後は、地域移行推進協議会を開催し、横手市により適した地域連携・移行のあり方を検討していく。
- (2) 健やかに安全で安心して楽しく学べる教育環境づくりの推進
 - ・スクールバス運転手への講習を実施し、安全運転意識の向上に務めた。引き続き、全運転手に対して安全運転を徹底するよう、丁寧な注意喚起を行っていく。
 - ・奨学金や返還支援制度について、市内各校を訪問し、担当者への説明を実施し周知を図った。今後は、ホームページやチラシのリニューアルにより、さらなる周知に努め、制度活用の促進を図る。
 - ・小児生活習慣病予防対策会議において、関係機関が各種調査結果を情報共有することにより共通認識を図り、各専門分野からの丁寧かつ積極的な取り組みができた。
- (3) 安全で安心な、子どもが親しむ学校給食の提供と食育の推進
 - ・調理配送等業務委託事業者と連携を密に図り、学校給食の提供ができた。引き続き、秋田県版HACCPに基づく衛生管理の徹底を図り、安全安心な給食の提供に努めていく。
 - ・第3子以降の児童生徒の給食費無償化等の実施に向け、実施することでの課題を挙げ、具体的な場面を想定したシステムの構築を行った。給食費相当額の補助金交付についても、複数の目でチェック機能を働かせ、確実な取り組みをしていく。
 - ・令和7年1月に関係機関、団体と地場産使用率向上に向けた話し合いの場を設け、今後の調達体制の見直しについて検討を行った。